

【1】 2025（令和7）年度事業計画

1. 事業の方針と概要

一宮まちなか未来会議（以下、当会議）は、第3期（2024（令和6）年度）をウォークブル事業具現化へのキックオフの年として展開しました。第4期（2025（令和7）年度）はウォークブル事業具現化の正念場となり、テーマを「チャレンジの実装と自走」として下記の事業を展開します。

2024（令和6）年度に具現化の第1歩として、本町通りを歩行者中心の将来像に向けた歩行者利便増進道路（通称：ほこみち）制度導入の実装的取組である「ホンマチチャレンジ2024」を実施し、外部イベントと連携しつつその可能性を探りました。これを受けて2025（令和7）年度は、本町通りへの制度の本格実装や歩車道再整備に向けて、さらなる歩車道の利活用促進や車両通行制限の新たな仕組みづくりを検証する「ホンマチチャレンジ2025」に取組み、実装化の準備をします。

また、一宮駅西口駅前広場や銀座通り、本町通り等で広がってきた公共空間利活用の「ミライアクション365」は継続展開をはかり、民間で自走できる仕組みの実装を目指します。

2024（令和6）年度に続き、上記のまちづくりを学ぶ場「TUMUGUBA」や、本町通り改築を見据えたデザイン等について語り合う「円卓会議」を開催するなど、多様な形式で継続展開していきます。

こうした事業を運営する主体としての自立し自律的で持続可能な民間自走組織、まちづくり会社のような組織の早期構築を目指して、2024（令和6）年度に検討研究をスタートしましたが十分な検討に至りませんでした。2025（令和7）年度は、多様な主体による多様な取り組みやニーズを調整し、その基盤となる資金循環のかたち、ビジネスモデルを官民連携で開発することを目指し、関係団体や行政部局に協力を得て情報共有をはかりながら議論検討を重ね、できるだけ早期の実装を目指します。

上記の活動を公表公開された形で実施し、自走組織へコミットしていくスタッフを募集し発掘し育成する作業を常に並行継続して実施していきます。

2. 事業の計画

前年度に引き続き、以下の2つの事業の柱をたてて取り組む。

- 1) 自走組織の構築を目指す「会議運営事業」
- 2) ウォークブル実装を目指す「社会実験事業」

1) 自走組織の構築を目指す「会議運営事業」

自走組織の早期構築を目指しつつ、エリアプラットフォームとして下記の事業を実施する。

1. 会議運営

●総会の開催

当会議の規約にもとづいて、年1回（年度初め）の総会を開催する。なお、理事会で必要と判断すれば年度途中での総会の開催も行う。

●理事会の開催

会議の規約にもとづいて、理事会を開催し、事業の企画、実施にあたり必要な判断を行っていく。

【会議運営の方針】

上記の総会、理事会の開催にあたり、その準備、招集、開催案内、会場準備、資料作成、記録作成、当日運営、報告書作成等の作業などを実施する。

民間団体として、また将来の自走化を視野に、記録や報告業務は可能な範囲で簡略化し、今後のモデルとしても事業費の削減と実効性の確保を推進する。

また、会議運営や事業実施を形式的なものではなく創造的で実効性のあるものにする。

●組織自走化へ向けた検討～（仮称）「自走会議」の設置

一宮まちなか未来会議を、行政と連携しつつも民間主導で自立的かつ継続的な事業実施が可能な組織運営に転換するための検討会議を開催する。検討会議は、まちなか再生に関連する幅広い行政部課と地域市民有志により構成し一宮まちなか未来会議が主導する。そうした自走組織の構築に向けて、とりわけ継続的な活動のための資金確保について検討を行う。

2. 部会の運営

2024（令和6）年度に引き続き下記の4つの分野の部会活動と、それらを分野横断的に取り組む合同部会としてプロジェクト（社会実験事業）に取り組む。

さらに、事業内容に応じて柔軟にかつ有機的に連携して活動を行う。また、自走化のため部会報告は可能な範囲で簡略化する。

●部会共通の取組み「合同部会」

「TUMUGUBA」（勉強会・見学会）や「円卓会議」（地域の議論の場）などの分野横断的な取り組みを「合同部会」として取り組んでいく。

●公共空間部会

道路や公園など公共空間利活用の取り組みを検討する。特に、社会実験の企画や運営方法等について検討を行う。

●地域資源活用部会

空き家・空き店舗、まちなかに点在する公共施設や公有地等の活用について検討を行う。

●情報発信部会

今後のまちなかにおける情報発信やプロモーションについて検討を行う。

●アート部会

「国際芸術祭あいち 2020」で醸成されたアートへの関心の高まりや人的ネットワークなど有形無形の地域資源を今後のまちなかの魅力形成に活かすための検討を行う。

3. ウォークブル事業や様々なまちなか関連事業への協力

ウォークブル事業である「まちなかを考えるシンポジウム」を共催するなど、積極的に連携してまちなかの再生に取り組む。また、他にもまちなかで展開される伝統的な祭りや新たなイベント等と連携協力し、各事業の相乗効果を高めてまちなかの総合的な再生を目指す。

2) ウォーカーブル実装を目指す「社会実験事業」

2025（令和7）年度のプロジェクト一覧	関連部会（※主担当）
<p>1. ミライアクション365daysの管理運営（継続） 銀座通りや本町通り、一宮駅西口広場などの公共空間の民間活用を促進・誘導</p> <ul style="list-style-type: none"> ・店舗出店、イベント等の開催支援 ・自立継続に向けた運営体制や運営方法の工夫 	<p>※公共空間部会 ・地域資源活用部会</p>
<p>2. ホンマチチャレンジ事業（継続ステップアップ） 商店街と一体となり歩行者利便推進道路（通称「ほこみち」）制度の実装化に向けた取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催時期（春夏秋など屋外活用しやすい時期6月～11月を予定） ・沿道店舗と連携実施の強化（イベント連携の展開など） ・緑化・休憩施設・交通安全啓発などの付帯的展開 	<p>※公共空間部会 ※地域資源活用部会 ・情報発信部会 （アート部会）</p>
<p>3. プリンスアレイおよび周辺活用事業（※新規） 本町三丁目の空き地（プリンスアレイ）を活用し各種出店や休憩スペース運営を行うなど活用の実験的取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・将来活用プランの提案調整、集中的開発実験の実施 ・将来的な地域家守仕組みづくりの検討 	<p>※地域資源活用部会 ・情報発信部会</p>
<p>4. ICHINOMIYA ART WALK III 事業（継続） まちなかを回遊するアート事業の企画運営者を募集し、共同でその実施に取組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかアート企画の募集・実施（継続） 	<p>※アート部会</p>
<p>5. 情報発信事業（継続） これまでの様々な情報発信媒体を有機的かつ効果的に再編していく。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなかチャンネル（株アイ・シー・シー） ・まちなかラジオ（FMいちのみや株） ・まちなかマガジン（メルマガ）／まちなかニュース（紙媒体） ・ウェブサイト・SNS(Instagram)／まちなかマップ 	<p>※情報発信部会</p>
<p>6. まちなかの未来を学び語る事業（継続）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・まちなか再生のための学びの場である「TUMUGUBA」の開催 ・地域関係者が語り合う「円卓会議」の開催 会議の自立運営、本町通りほこみち制度導入や改築を見据えたデザインについて、銀座通りの歩道空間活用について、等 ・「まちなかを考えるシンポジウム」に共催として取り組む。 	<p>※「合同部会」 （主担当部会はテーマや内容によって）</p>
<p>7. その他事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ファニチャー管理運営（定期的な維持管理） ・未来会議のロゴマーク等検討 	

3. 事業の実施体制

主 催： 一宮まちなか未来会議（ 代表 安藤元二 副代表 喜多茂樹 ）

事 務 局： 一宮市まちづくり部都市計画課

協 力： 一宮市本町通一丁目商店街振興組合、一宮市本町通二丁目商店街振興組合、
一宮市本町通三丁目商店街振興組合、一宮市本町通四丁目商店街振興組合、
一宮市銀座通商店街振興組合 ほか

【2】2025（令和7）年度予算

2025（令和7）年度の予算は以下のとおりとなる。

[収入の部]

（単位：円）

区 分	当初予算額 (A)	前年度現計 予算額(B)	差引増減額 (A-B)	備 考
1 一宮市負担金	26,978,000	28,832,000	▲1,854,000	
2 利息	0	0	0	
3 繰越金	75	1	74	
計	26,978,075	28,832,001	▲1,853,926	

[支出の部]

（単位：円）

区 分	当初予算額 (A)	前年度現計 予算額(B)	差引増減額 (A-B)	備 考
1 事業費	26,928,000	28,787,000	▲1,859,000	
会議運営事業費	4,928,000	6,787,000	▲1,859,000	
社会実験事業費	22,000,000	22,000,000	0	社会実験の企画検討、 運営、効果検証、広報等
2 事務費	50,075	45,001	5,074	
計	26,978,075	28,832,001	▲1,853,926	